

# 教科等研究会（小学校特別活動部会）

## 令和元年度 研究活動のまとめ

### 1 研究テーマ

互いのよさを出し合うことで、自主的・実践的に課題解決する特別活動  
～社会参画、人間関係形成、自己実現のねらいを明確にした集団活動の創造を通して～

### 2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	講師	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6月 18日	9名	御船 中学校	8月 2日	益城町 ミナテ ラス	長島 義直 指導主 事	10月 31日	益城 中央 小学校	吉川 美千瑠 教諭	11月 22日	嘉島 中学校	福島 亜矢 教諭

### 3 研究の概要

#### (1) 研究の内容

##### ① 主題設定の理由

これからの子どもたちには、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、豊かな感性を持って自分と周囲の人、各々の生き方を認め合いながら、よりよい社会、よりよい人生をどのように切り開いていくかを自ら考え、実践できる力を身に付けていくことが重要となる。

特別活動では、学級活動、児童会、生徒会活動、クラブ活動、学校行事等のよりよい集団活動を通して、学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育てていく。よりよい集団活動は自分と異なる文化、習慣、生き方を認め合う土壌や協働性、集団への所属感、連帯感を育むことにつながる。それが学級文化、学校文化を醸成し、特色ある教育活動の展開を可能性へとつなげる。

特別活動の目標に掲げられている「互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」よりよい集団活動の創造過程は、特別活動で育成する重要な資質・能力である「社会参画力」、「人間関係形成力」、「自己実現力」を実践的に身に付けていくための重要な機会となる。

よりよい集団活動をめざして、話し合い活動で合意形成された目標や一人一人に役割分担のある協働活動は、互いのよさや可能性を集団の中で具体的に生かし、個性と集団を伸ばしていく集団活動に他ならない。よりよい集団活動を創造していく活動を通して、「社会参画力」、「人間関係形成力」、「自己実現力」が育成されているかという視点を明確にもって実践していくことが不可欠である。

##### ② サブテーマ

##### ア 人間関係形成

人間関係を自主的、実践的によりよいものへと形成していくために、よりよい集団活動の中で、個人と個人、あるいは個人と集団という関係性を築いていくことが必要である。年齢や性別といった属性考え方や関心、意見の違い等を理解した上で認め合い、互いのよさを生かすような関係をつくることが大切である。

##### イ 社会参画

社会参画の意識は、よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決していくために、自発的、自治的な活動を行い、個人が集団へ関与する中で育まれる。学校は一つの小さな社会であると同時に、様々な集団から構成される。学校内の様々な集団における活動に関わることで、地域や社会に対する参画、持続可能な社会の担い手となっていくことにもつながっていく。

##### ウ 自己実現

現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする集団活動を通して、自己のよさや可能性を集団の中で生かし、試していくことで、自己理解が進み、自己のよさを生かす力、自己の在り方生き方を考え設計する力などが育まれる。

##### ③ 研究の視点

視点1：自主的・実践的に課題解決する議題の選定について

視点2：各学年の発達段階における話し合い活動の在り方について

(2) 成果と課題 (○成果・▲課題)

- 本学級会を通して、話し合い活動においては、自分の意見に根拠を持って伝えたり、自分とは違う考えの友達の意見を大切にしたりできる児童が増えた。
- 「2の2うんどう会をしよう」という一連の活動を通して、自分たちで準備をして取り組むことで、その活動に達成感を感じることができるようになった。
- ▲話し合い活動において、自分の意見を発表できない児童がまだおり、全員の意見とは言えないという課題がある。

【視点1について】自主的・実践的に課題解決する議題の選定について

- 学級目標達成につながる議題であり、児童から出された議題を大切にしたい議題の設定が行われた。
- これまでの多くの意見から1~2つに決定する議題から、児童の工夫を生かした意見が出され、多数の意見が決定される議題へと、工夫改善された。

【視点2について】各学年の発達段階に応じた話し合い活動の在り方について

- 司会グループを輪番制にしたことや事前指導、年間を通した継続的な話し合い活動の実施により司会グループが、スムーズに話し合い活動を進めることができた。
- 事前に話し合いカードを記入しておくことや教師の事前の指導により、多くの児童が発言したり、理由をつけて意見を言ったりできるようになった。
- 低学年の話し合い活動において、教師がどのように介入するか、意見を出せない児童への支援をどのようにするか、授業研究会で具体的に話し合うことができた。
- ▲中学年や高学年への系統性を考えた研究や実践が必要である。

4 実践事例 (益城中央小学校 2年2組33名 指導者 吉川美千瑠教諭)

(1) 授業の概要

児童の実態	<p>①学級目標「たすけあい チャイムをまもって べんきょうをがんばる2の2」について7割の児童が学級目標を守っていると答えている。また、話し合いの時によく発表する児童が多い。</p> <p>②困っている友達を放っておかず話を聞いたり、友達同士の喧嘩の仲裁に入り解決したりと心優しい児童も多い。</p> <p>③1学期にも4回、2学期もこれまでに3回「すずらん学級会」を開き、話し合い活動に取り組んでいる。これまでに、学級目標決めや、お楽しみ会等の集会活動を開いてきた。</p> <p>④自分のよいところや学級のよいところに気づくことができていない児童が多いことが課題である。</p>
研究テーマとの関連	<p><b>視点1：自主的・実践的に課題解決する議題の選定について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童から出された議題から、学級目標の「たすけあい」につながる議題を設定。</li><li>・議題「2の2うんどう会をしよう！」において、「2の2うんどう会を楽しくする工夫を考えよう。」という多くの意見が決定される議題を設定。</li></ul> <p><b>視点2：各学年の発達段階に応じた話し合い活動の在り方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・輪番制により、全児童に司会グループを経験させる。</li><li>・司会グループへの事前の指導を行う。</li><li>・学級会シートに自分の考えをまとめておき、話し合い活動への見通しと、全員が自分の意見をもって話し合い活動に参加できるようにする。</li><li>・話し合い活動において、教師がどのように介入するか。</li></ul>
授業者自評	<p><b>視点1について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童から出された議題であり、学級目標達成に向けた議題を設定した。運動会も競い合いではなく、協力できることをねらいとした。</li><li>・はじめは、運動会の種目を決めるという議題を考えていたが、チームを分けずにできる競技を教師から提案をし、楽しくする工夫を考える議題へと変更した。事前の準備があるものに絞って話し合いを行った。</li></ul> <p><b>視点2について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・司会は、輪番制で事前指導や練習を行った。学級会シートの活用を行った。</li><li>・話し合い活動において、教師がどのように介入するか。発言の理由を、「楽しい」「うれしくなる。」と出ていたが、協力というような理由が少なかった。合意形成の方法はこれでよかったのか。</li></ul>

<p>協議の内容</p>	<p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>Q：準備が必要なものについての意見は、本時では7つの意見が出されたが、他にもあったのか。</p> <p>A：7つだった。他には、当日できる工夫が6つあった。</p> <p>Q：7つの意見から、いくつに決めていきたいと思っていたのか。</p> <p>A：看板を作るという意見については、「むずかしい。」などの意見が出ると思っていた。</p> <p>Q：本時で決定した意見は、今後どのように準備をするかなどの見通しを教えてください。</p> <p>A：どの準備をだれがするか決めて、取り組んでいく。あと1時間役割分担を決める時間を設ける。その後は、昼休みや休み時間に作成をしていく。</p> <p>Q：合意形成の判断の数の根拠を教えてください。</p> <p>A：これまでの実態から設定をしたが、今回の話し合いでは、ばらけた。</p> <p>&lt;グループ協議・発表&gt;</p> <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○司会グループが、自分たちでスムーズに話し合いを進めていた。</li> <li>○事前の準備やこれまでの積み重ねがよかった。</li> <li>○話し合いがシステム化されていた。</li> </ul> <p>【改善した方がよい点】</p> <p>△めあてに対して、学習訓練や姿勢、声の大きさなどには、教師の介入が必要だった。</p> <p>△教師の働きかけについて（いろいろな意見が出た時に理由を丁寧に言わせる。反対意見が出た時。先生の話でありがたい意見をフォローしたり、個人を褒めたりする。）</p> <p>△意見を出せない子への支援をどうするか。</p> <p>&lt;全体協議&gt;</p> <p><b>各学年の発達段階に応じた話し合い活動の在り方について</b></p> <p>① 意見を出せない児童への支援の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に学級会シートへのコメントを入れておく。</li> <li>・司会グループの児童から声かけをさせていく。（子どもたちのサポート）</li> <li>・全体での発表は勇気がいる。隣の人や班で話し合う場を設ける。</li> <li>・話し合い活動を日頃から取り入れていく。</li> <li>・発言が出た時に、「同じ考えの人」と挙手をさせる。（発言以外の意思表示）</li> </ul> <p>② 話し合い活動における教師の介入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いが学級目標から離れた時</li> <li>・ありがたい意見へのフォロー</li> <li>・何人以上賛成という時、反対が続いた時</li> <li>・低学年では、決まらなかったら泣き出すこともある。互いのよさや、別の時間等でも活躍の場を作る。</li> </ul>
<p>まとめ 益城中央小 岩下育男 校長先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生は、教師がしっかり介入することが必要。</li> <li>・合意形成の中で決める。決まらなかった意見には、どのようにするか考えていくことが大切。</li> <li>・「たのしい学級活動」各学年の本の活用、各学校に配付されている特別活動リーフレットの活用をしてほしい。これらを参考にして、実践していくことが大切。</li> <li>・学級の実態の中で、とにかく今日は頑張っていた。真剣に考えてこれまで取り組んできた。この取組で子どもたちが、発言できるようになってきた。理由付けもできるようになった。意見を出し合い、クラスがよりよくなった。</li> <li>・今度も学級活動の実践が深まっていくといいなと思う。</li> </ul>

(2) 学習指導案

<p>目標：学級の友達と協力し、助け合って活動することを通して、学級生活を楽しくしようとする態度を育てる。友達の意見を静かに、うなずきながら聞くなどの聞く力を育てる。</p>				
<p>議題：「2の2うんどう会をしよう！」</p>				
<p>提案理由：みんなで協力して楽しい運動会をすれば、助け合えるクラスになると思ったからです。</p>				
過程	学習活動	時間	児童の活動	発問・指示及び教師の支援と評価
見 通 す	1 話合いの流れを知る (1)はじめの言葉 (2)役割の紹介 (3)議題と提案理由の確認 (4)めあての確認 (5)先生の話	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>今から第8回すざらん学級会を始めます。</li> <li>司会グループを紹介します。</li> <li>今日の議題は～です。</li> <li>提案理由の確認です。～さん提案理由をお願いします。</li> <li>今日のめあては～です。</li> <li>先生からのお話です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に司会者グループと提案者との打ち合わせや話合いのリハーサルをしておく。</li> <li>司会者グループに話合いの進め方のカードを作っておく。</li> </ul>
	<p>考える・伝える・学ぶ</p> <p>2 話合い 柱「2の2うんどう会を楽しくするくふうを考えよう。」 (1)意見と理由の発表 (2)質問 (3)賛成と心配意見</p> <p>3 整理する (1)意見を分ける</p> <p>4 まとめる (1)決まったことの確認</p>	31分	<p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動会では、ボール送りリレー、二人三脚リレーをする。</li> <li>○みんなで助け合って、楽しく運動会をする工夫を考える。</li> <li>○自分たちで準備できること。○2週間で準備できること。</li> </ul> <p>・飾りを作りたいです。盛り上がるからです。</p> <p>・メダルはだれが作りますか。</p> <p>・メダルに賛成します。もらった人がうれしくなるからです。</p> <p>決定した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうえん ・メダル</li> <li>・賞状 ・旗 ・かざり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見には、理由も一緒発表させる。</li> <li>賛成・心配意見を出すときには提案理由に沿って理由を考え発表するようにする。</li> <li>賛成は3以上、反対は2以上で決定意見とありがとう意見に分ける。</li> </ul>
確 か め る	5 振り返り (1)司会・副司会の振り返り (2)自分の振り返り (3)先生からの話  6 おわりの言葉	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○〇さんがたくさん発表していました。〇〇さんの聞き方がよかったです。</li> <li>学級会ノートに振り返りを書いてください。</li> <li>先生のお話です。</li> <li>これで第8回すざらん学級会を終わります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話合いシートの自己評価欄を記入する。</li> <li>全体の評価を司会者、頑張っていた友だちを副司会者が紹介する。</li> <li>学級全体のよさ、がんばりを認める。</li> </ul>